

学校だより

前期学校評価特別号

令和5年9月29日(金)

野々市市立野々市小学校



学校評価に関するアンケート結果の報告

7月に保護者の皆様には「学校評価に関するアンケート」に、ご回答をいただきありがとうございました。このアンケートは、保護者の皆様、児童、教職員のそれぞれに対して行っています。その結果を分析・考察することで、さらによりよい学校づくりに生かしていきたいと思っています。

	評価内容	A				B				C				D						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	0%	20%	40%	60%	80%	100%	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
1	児童 授業がわかる	57%	36%	5%	2%															
2	児童 授業では、考えたことをノートなどに表現している。	58%	34%	6%	2%															
	教職員 重点1に基づいて児童が考えたくなるように課題設定を工夫している。	36%	59%	5%	0%															
3	児童 授業では、ノートや黒板、画面を指し示して話している。	42%	37%	15%	6%															
	教職員 重点2に基づいて交流の際に模範を指し示しながら表現させている。	36%	59%	5%	0%															
4	児童 授業でクロームブックを使って情報を集めたり、まとめたりしている。	64%	26%	7%	2%															
	教職員 クロームブックを活用して、考えを表現する授業を実施している。	5%	30%	50%	16%															
5	児童 グー・ベタ・ピンで学習している。	27%	51%	15%	7%															
	教職員 授業で姿勢を見取り、グー・ベタ・ピンの声掛けを徹底している。	55%	45%	0%	0%															
6	児童 自分からあいさつやえしやくをしている。	61%	27%	8%	4%															
	保護者 お子さんは自分から大人(家族や見守り隊、バスの運転手、地域の人等)にあいさつしている。	28%	46%	21%	5%															
7	児童 廊下を走らず、右側を歩いている。	56%	35%	7%	2%															
	教職員 廊下を走っている児童を止め、歩くよう指導している。	73%	27%	0%	0%															
8	児童 友達をきずつけない温かい言葉で話している。	57%	35%	5%	3%															
	保護者 お子さんに温かい言葉で接している。	31%	61%	8%	0%															
9	児童 シャツを入れ、ズックをはいて、身なりに気をつけている。	74%	19%	4%	3%															
	教職員 身だしなみ(シャツイン、ズックのかかと入れ)を見逃さず指導している。	59%	39%	2%	0%															
10	児童 係や当番、委員会などの仕事に、自分から進んで取り組んでいる。	64%	29%	5%	2%															
	教職員 児童が学校や学級をよりよくしようとしている姿(係、当番、委員会、クラブ、友達へのかわり、お手伝い等)を見つけて、ほめている。	82%	18%	0%	0%															
11	児童 学校は楽しい。	61%	26%	9%	4%															
	保護者 お子さんは、楽しそうに学校に通っている。	61%	33%	5%	1%															
12	児童 自分にはよいところがあると思う。	53%	30%	11%	6%															
13	保護者 お子さんは朝ご飯を食べている。	87%	10%	3%	0%															
14	保護者 学校は、学校だよりや学校公開等を通じて、「地域と共にある学校づくり」に努めている。	53%	45%	36%	14%															

取り組みの様子
<p>・どの児童も授業の最後まで意欲的に取り組めるように、解決したくなるような学習問題を設定したり、児童一人一人の学習状況に寄り添いながら指導や支援を充実させたりして取り組んでいます。</p>
<p>・児童の「書く」力を高めるために、ノートの書き方を指導したり、モデルになる書きぶりのノートを掲示して取り上げたりしていきます。また、ノート検定に取り組むことで、児童によりよいノートを書く意欲を喚起していきます。</p>
<p>・相手に考えが伝わるように、ノートや資料などを「指し示して説明すること」のよさや意義を児童と共有し、学習を進めています。また、説明する機会を増やすためにペアやグループでの学習に積極的に取り組んでいます。そして、指し示して説明できたことやその努力の過程・変容を積極的に認め、褒めています。</p>
<p>・児童がクロームブックを使って学習を深められるように、更に授業の中や委員会活動、クラブ活動など多くの場でクロームブックの使用の頻度を増やして使用していきます。</p>
<p>グー・ベタ・ピンとは授業中の姿勢を表す学校の中での言葉です。 グー:机と体の感覚が揺りこぶし1つ分 ベタ:足の裏を床につける ピン:背筋をのぼす ・1学期同様、学級での指導を継続し、児童の姿勢に対する意識を高めていきます。学習のスタート時や学習の切り替え(特に書く活動)の場で、確認する声かけを行い意識を喚起します。また、2学期スタート3日間に集中した強化を行ったり、運動会の学年指導や全校指導でも意識を高めていきます。</p>
<p>・あいさつはお互いの心をつなぐ大切な習慣です。あいさつが当たり前となるように、生活目標に取り入れて月間の取り組みとして進めています。また、1週間強化週間を設定しています。学校での指導や取り組みも行っていきますが、ご家庭の方でも家族とのあいさつ、出かけた先でのあいさつなど、習慣化が図られるようお声掛けをお願いします。</p>
<p>・教師が学習をチャイムと同時に終了することで、児童が次の学習準備の時間を確保し、急がせないようにしていきます。運動会練習期間に児童が廊下を走らなくてもすむように、学校全体で時間を守り、余裕のある移動を意識していきます。</p>
<p>・引き続き、思いやりの大切さを指導したり、ぼっかぼかウィークを設定して児童相互の温かいつながりを醸成しています。また、学習活動や委員会活動、他の活動場面で、言葉の大切さや他に与える影響の大きさを、児童と共有し学習する場を大切にしています。児童の温かな言葉遣いには周囲の言語環境が大きく影響します。そこで、教師が言葉遣いに気をつけていきます。また、学校外で児童が触れる言葉については、是非ともご家庭の理解と協力をお願いします。</p>
<p>・2学期スタートの強化週間で、改めて服装について確認しています。また、学習のスタート時には、自分で身だしなみに気をつけられるよう、言葉かけを行っています。</p>
<p>・定期的に、学級で係や当番の仕事をふり返り、次の活動に生かす機会をつくっていきます。また、学級や校内放送などで児童のがんばりを褒めたり、お互いに認め合ったりする場を設けていきます。</p>
<p>・児童が学習活動、学校生活、行事等で自己有用感を味わえるように、教職員で意見を出し合い、教育活動を積み重ねています。また、日頃から児童の話を聞いたり、観察したりしながら悩みや不安、困り感に寄り添うことを大切にしています。休憩やリフレッシュの時間を大切に、休み時間を確保するためにもチャイムに合わせた授業の開始と終了を確実に進めていきます。</p>
<p>・児童相互でよさやがんばりを認め合ったり、たえあったりできる場面を設定していきます。また、教師は児童と積極的な関わりを持ち、できたこと(結果)やがんばったこと(経過)を時間を空けずに具体的に伝えていきます。</p>
<p>・児童ののぞましい生活習慣が身につくように、ご家庭と学校とで連携した働きかけをお願いします。 ・今後も学校だよりや学校ホームページによる情報提供、学校公開等を継続していきます。</p>

A あてはまる □あてはまる □だいたいあてはまる □あまりあてはまらない □あてはまらない
 B だいたいあてはまる
 C あまりあてはまらない
 D あてはまらない